

1 学校教育目標

心身ともに健康で、自主的に実践する子供の育成
〔校訓〕 賢く（知）、仲よく（徳）、強く（体）

2 本年度の重点目標

他と関わりながら、自らを高めていく子供の育成

【確かな学力】 進んで考え、学び合う子

【豊かな心】 互いを認め、支え合う子

【健やかな体】 生活を見つめ、きたえ合う子

3 学校運営の方針

明日が楽しみな学校

- (1) 児童及び教職員が安全で安心して活動できる教育環境を整える。
 - ・教師自身が範となり、挨拶や温かい言葉を通い合わせる。
 - ・整理・整頓、清潔、創意ある掲示等、明るく潤いのある環境づくりに留意する。
 - ・報告、連絡、相談体制の一元化を図り、迅速な対応に努める。また、信頼を礎とする協働体制の下、チームとして課題に取り組むことで、いじめや不登校、事件・事故の未然防止・早期解決を図る。
 - ・一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。
- (2) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む学習指導を展開する。
 - ・児童一人一人の実態や学習状況を踏まえ、ICT機器の活用や多様な学習活動等を工夫して、どの児童も「分かった」「できた」が実感できる、学ぶ楽しさのある授業づくりを推進する。
 - ・児童自らが発言する機会や児童同士が関わり合う場を設定することで、児童の主体的・協働的に学習に取り組む態度を育成する。
 - ・「とやま型学力向上プログラム（Ⅲ期）」を推進し、児童の思考力、判断力、表現力等の育成を図る。
 - ・読書活動の充実を図り、生涯を通して学び続ける力の基礎を築く。
- (3) 「いのちの教育」を基盤とし、自他を大切に育む豊かな心を育てる。
 - ・自己指導能力の育成を図るために、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成の視点から、意図的・計画的に教育活動を設定する。
 - ・授業や学級活動、学校行事、児童会活動等を通して一人一人に自己有用感を育む。
 - ・「特別の教科 道徳」の充実を図り、自己の内面を見つめ、道徳的価値を自覚し、行動できるように働きかける。
- (4) 児童の健康増進と体力の向上を図る。
 - ・心身の健康について学ぶ機会を充実させるとともに、家庭・地域と連携し、心身ともに健康で安全な生活を送ろうとする主体性を育む。
 - ・運動の楽しさを知り、進んで体力の向上に取り組もうとする態度を育てる。
- (5) 郷土愛の育成と信頼される学校づくりに努める。
 - ・ふるさと福岡への愛着と誇りを育むために、地域の特色や人材を活かした地域学習を充実させる。
 - ・学校の経営方針や活動状況等を積極的に発信し、保護者、地域住民の願いを随時教育活動に反映させるなど、地域ぐるみで児童の健全育成に努める。